



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ニッポン 上場取引所 東
コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田尾 亨
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 片岡 秀晃 TEL 03-3511-5307
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	107,213	2.9	4,305	△22.7	5,948	△12.1	4,292	△8.8
2026年3月期第1四半期	104,219	2.2	5,570	8.5	6,764	3.4	4,705	△50.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,826百万円 (△71.0%) 2026年3月期第1四半期 6,287百万円 (△59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	51.92	51.88
2026年3月期第1四半期	58.08	53.52

(注) 2026年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	469,473	288,770	59.9
2026年3月期	476,826	289,877	59.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 281,166百万円 2026年3月期 282,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	33.00	—	35.00	68.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	34.00	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	214,000	2.9	9,000	△17.1	10,000	△17.6	10,300	11.1	124.61
通期	430,000	2.8	19,500	△11.7	21,000	△15.6	21,200	△2.8	256.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	84,727,163株	2026年3月期	84,727,163株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,062,629株	2026年3月期	2,066,083株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	82,664,560株	2026年3月期1Q	81,017,137株

（注）期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2027年3月期1Q 219,500株、2026年3月期 219,500株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年3月期1Q 219,500株、2026年3月期1Q 225,900株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	104,219	107,213	2,993	102.9%
営業利益	5,570	4,305	△1,265	77.3%
経常利益	6,764	5,948	△815	87.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,705	4,292	△413	91.2%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善基調が定着するなか、緩やかな回復傾向で推移しました。一方で、中東情勢をはじめとする地政学リスクは依然として不確実性が高く、エネルギー価格の高水準での推移やサプライチェーンの混乱など、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、地政学リスクや為替変動により、原材料価格や物流費の高騰に加え、原油の供給不安等に起因する包装資材、インクなどの資材調達コスト上昇が継続しております。こうした状況を背景とした商品の価格改定により、消費者の節約志向が高まるなど、引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）」を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間においては、当社は主力ブランド「オーマイプレミアム」において、各カテゴリーで高付加価値商品の拡充を図り、カテゴリーを横断した統一感のあるブランド戦略を推進しました。冷凍パスタでは、具材の存在感や満足感を訴求した新テレビCMを展開し、ブランド認知の更なる向上とブランド価値の浸透を図りました。

加えて、この度冷凍ワンプレートでは、消費者に「心まで満たされるおいしさを届けたい」という思いから、ブランドメッセージ「ひとくちひとくち、ココロはずむ。」を掲げ、「オーマイプレミアム」に次ぐ新たなマスターブランドとして「ニッポン彩りごはん。」を立ち上げました。今後も消費者が真に求める価値である“おいしさ”の提供に、これまで以上に注力していきます。

また、新たな取り組みとして、バレーボール国内最高峰のSVリーグに参戦する「フラワーラッド鹿児島」とプリンシパル・パートナー契約を締結しました。今後はユニフォーム等への当社ロゴ掲出を通じてブランドの発信力を強化するとともに、チームとの共創を通じた地域社会への貢献に取り組んでいきます。

これらの施策により、当社ブランドの市場競争力の一層の強化と収益基盤の安定化を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、販売数量が堅調に推移したことに加え、諸コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は1,072億1千3百万円（前年同期比102.9%）となりました。利益面では、各事業において原材料費や人件費、物流費をはじめとした諸コストの増加や新工場稼働に伴う償却負担増があったことにより、営業利益は43億5百万円（同77.3%）、経常利益は59億4千8百万円（同87.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億9千2百万円（同91.2%）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

事業別の状況は次のとおりです。

①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売 上 高	30,744	30,214	△530	98.3%
営業利益	2,517	2,039	△478	81.0%

製粉事業については、販売は堅調に推移し出荷は前年を上回ったものの、外国産小麦の政府売渡価格が引き下げられたことに伴う価格改定の影響があったことから、売上高は302億1千4百万円（前年同期比98.3%）、営業利益は20億3千9百万円（同81.0%）となりました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が本年4月から改定され、また、物流費・人件費等が上昇していることから、本年6月下旬より業務用小麦粉の価格を改定しております。

②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売 上 高	60,650	62,624	1,973	103.3%
営業利益	2,368	1,435	△933	60.6%

業務用食品については、国内外ともに販売が堅調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

家庭用食品については、「もちっとおいしいスパゲッティ」や「極上アルデンテがおいしいスパゲッティ」の販売数量が伸長したことに加え、冷凍食品でも「オーマイプレミアム」シリーズ及び1食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズの販売数量が堅調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

中食事業については、消費者の節約志向が高まっていることから、売上高は前年を下回りました。

以上により、食品事業の売上高は626億2千4百万円（前年同期比103.3%）、営業利益は14億3千5百万円（同60.6%）となりました。

③その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売 上 高	12,824	14,375	1,551	112.1%
営業利益	683	867	184	126.9%

ペットケア事業については、販売数量伸長等により、売上高は前年を上回りました。

外食事業については、販売が好調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

エンジニアリング事業については、大口工事の引き合いが増加した結果、売上高は前年を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は143億7千5百万円（前年同期比112.1%）、営業利益は8億6千7百万円（同126.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2026年3月期	2026年6月期	増減額
流動資産	194,203	186,289	△7,914
固定資産	282,534	283,099	565
繰延資産	88	84	△4
資産 合計	476,826	469,473	△7,353
流動負債	82,786	77,814	△4,972
固定負債	104,162	102,888	△1,274
負債 合計	186,949	180,702	△6,246
純資産	289,877	288,770	△1,106
負債・純資産 合計	476,826	469,473	△7,353

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ73億5千3百万円減少し、4,694億7千3百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が72億4千5百万円、投資有価証券が25億4千8百万円、商品及び製品が13億4千4百万円減少したこと、並びに有形固定資産が40億4千4百万円増加したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ62億4千6百万円減少し、1,807億2百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が41億4千7百万円、長期借入金が7億1千8百万円、支払手形及び買掛金が6億1千1百万円、その他の固定負債が5億2千8百万円減少したこと、並びにその他の流動負債が4千5百万円増加したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ11億6百万円減少し、2,887億7千万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が23億7千9百万円、退職給付に係る調整累計額が1億9千9百万円減少したこと、並びに利益剰余金が13億8千5百万円、非支配株主持分が5千7百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間68円の予定から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,173	61,928
受取手形、売掛金及び契約資産	57,818	57,810
商品及び製品	29,696	28,352
仕掛品	98	210
原材料及び貯蔵品	23,116	22,733
その他	14,325	15,275
貸倒引当金	△26	△22
流動資産合計	194,203	186,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,065	61,935
機械装置及び運搬具（純額）	28,532	32,613
土地	48,752	48,738
建設仮勘定	14,155	14,013
その他（純額）	3,997	4,245
有形固定資産合計	157,502	161,546
無形固定資産		
のれん	1,517	1,424
その他	1,352	1,496
無形固定資産合計	2,869	2,920
投資その他の資産		
投資有価証券	102,647	100,099
その他	19,733	18,756
貸倒引当金	△219	△223
投資その他の資産合計	122,161	118,632
固定資産合計	282,534	283,099
繰延資産	88	84
資産合計	476,826	469,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,107	34,496
短期借入金	15,820	15,700
未払法人税等	5,158	1,010
賞与引当金	1,027	888
その他	25,672	25,717
流動負債合計	82,786	77,814
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	43,249	42,530
退職給付に係る負債	4,210	4,199
役員退職慰労引当金	371	340
役員株式給付引当金	150	165
その他	36,180	35,651
固定負債合計	104,162	102,888
負債合計	186,949	180,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,244	16,244
利益剰余金	187,106	188,492
自己株式	△4,751	△4,751
株主資本合計	217,270	218,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,661	50,282
繰延ヘッジ損益	30	62
為替換算調整勘定	5,652	5,651
退職給付に係る調整累計額	6,714	6,514
その他の包括利益累計額合計	65,059	62,510
新株予約権	98	98
非支配株主持分	7,448	7,505
純資産合計	289,877	288,770
負債純資産合計	476,826	469,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	104,219	107,213
売上原価	77,980	81,419
売上総利益	26,239	25,794
販売費及び一般管理費	20,668	21,489
営業利益	5,570	4,305
営業外収益		
受取利息	135	213
受取配当金	1,300	1,279
その他	168	495
営業外収益合計	1,604	1,988
営業外費用		
支払利息	97	276
為替差損	205	—
その他	107	68
営業外費用合計	410	345
経常利益	6,764	5,948
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	186
特別利益合計	0	186
特別損失		
固定資産除売却損	13	10
投資有価証券評価損	—	4
投資有価証券売却損	0	0
その他	16	0
特別損失合計	30	15
税金等調整前四半期純利益	6,734	6,120
法人税、住民税及び事業税	1,287	971
法人税等調整額	660	771
法人税等合計	1,948	1,743
四半期純利益	4,786	4,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,705	4,292

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,786	4,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,229	△2,381
繰延ヘッジ損益	5	30
為替換算調整勘定	△825	△51
退職給付に係る調整額	△97	△199
持分法適用会社に対する持分相当額	189	51
その他の包括利益合計	1,500	△2,550
四半期包括利益	6,287	1,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,197	1,742
非支配株主に係る四半期包括利益	89	83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,593百万円	3,289百万円
のれんの償却額	103	93

(注) 前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	30,744	60,639	91,384	12,597	103,981	—	103,981
その他の収益	—	11	11	226	238	—	238
外部顧客への売上高	30,744	60,650	91,395	12,824	104,219	—	104,219
セグメント間の内部売上高又は振替高	727	244	972	647	1,619	△1,619	—
計	31,472	60,895	92,367	13,471	105,839	△1,619	104,219
セグメント利益	2,517	2,368	4,886	683	5,570	0	5,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	30,214	62,612	92,826	14,130	106,956	—	106,956
その他の収益	—	11	11	245	257	—	257
外部顧客への売上高	30,214	62,624	92,838	14,375	107,213	—	107,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	659	239	898	649	1,548	△1,548	—
計	30,873	62,863	93,736	15,025	108,762	△1,548	107,213
セグメント利益	2,039	1,435	3,475	867	4,343	△37	4,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△37百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。